



CSR 活動事例集

2026年3月



一般社団法人 関西電気管理技術者協会

はじめに

一般社団法人関西電気管理技術者協会は、CSR（社会的責任：社会貢献等）に取り組んでいるところです。

2020年4月にCSRレポートをまとめて以来、今回で7回目の当協会CSR活動の紹介となります。今回のレポートでは、ジャンル別に2025年度の事例を紹介させていただきます。

今後におきましても、会員一同、研鑽して社会貢献に尽力いたします。

2026年3月 総務委員会

紹介事例項目

<環境・歴史・地域などへの貢献>

- 環境への配慮；使用済みヘルメットのリサイクル（姫路支部）
- 国宝「天龍寺」様低圧配線特別点検（京都支部）
- 社会貢献活動（献血）滋賀支部 今村和彦
- 母校へ寄付（滋賀支部）

<電気使用安全月間での活動>

- 『クリップモーター作り』で地域との交流活動（大阪北支部）
- 電気使用無料相談会・電気使用安全キャンペーン（大阪南支部）
- 「電気使用安全月間活動、電気の無料相談会」の実施（神戸支部）
- 「電気使用安全月間活動、電気の無料相談会」の実施（京都支部）
- 「電気使用安全月間活動、電気の無料相談会」の実施（滋賀支部）
- 電気使用安全月間活動（和歌山支部）
- 電気使用安全月間活動（奈良支部）

<研修・訓練>

- コンプライアンス研修会（姫路支部）
- 交通安全講和（姫路支部）

環境・歴史・地域などへの貢献

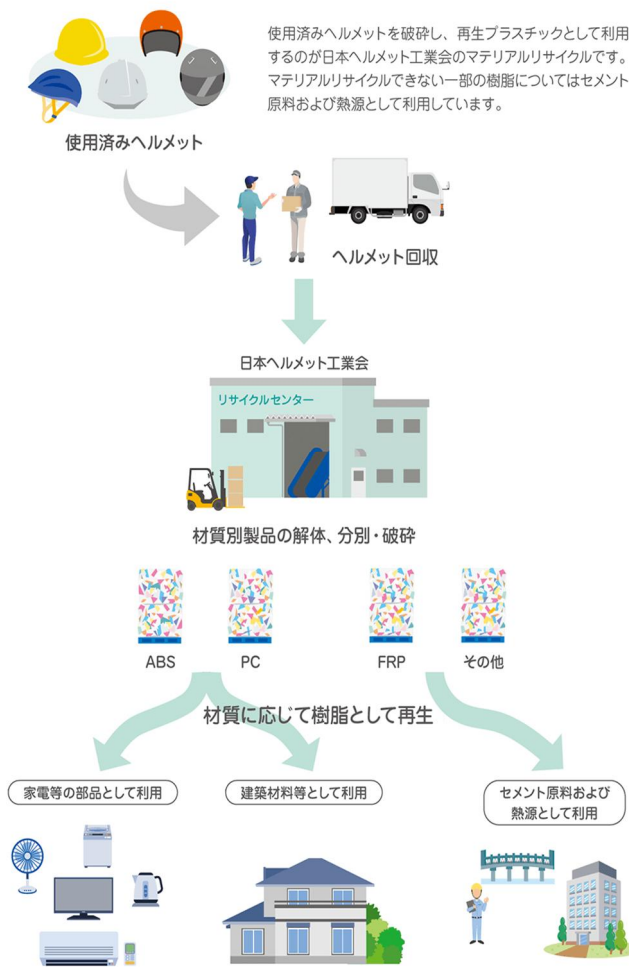
環境への配慮

使用済みヘルメットのリサイクル（姫路支部）

資源を有効に使い、また再生できるようにする循環型社会の実現が呼びかけられています。

姫路支部では CSR 活動として環境に配慮して身近なものから役割を終えた物を再利用すべく使用済みヘルメットのリサイクルに取り組んでいます。（「捨てればゴミ、分別すれば資源」限りある資源を大切に！）

リサイクルシステムのしくみ



＜リサイクルの流れ＞

○会員各自、使用済みで不要になったヘルメットを支部に持参（リサイクル費用を支部に納入）し、事務所に設置した回収ボックスに入れる。



○ヘルメットの製造者であるDICプラスチック(株)から契約書を入手し、姫路支部と一般社団法人日本ヘルメット工業会が広域認定制度産業廃棄物処理委託契約書を（R6.4.29）締結（ヘルメットリサイクルシステム契約書）
○回収が10個程度になれば契約書に基づき、リサイクルセンター（株）フコックスに『ヘルメットリサイクル管理票 兼 処分報告書』によりメールで回収依頼、メールで回収決定・収集運搬終了・処理報告を受ける。この管理表がマニフェストの代替となる。

○第1回目のリサイクルとして回収した16個についてR6年6月～7月にリサイクルを実施しました。リサイクルのやり方が確立し、確認できたので回収が10個程度になれば所定の手続きを実施し、これからもヘルメットのリサイクルに取り組んでまいります。（R7継続して実施中）

国宝「天龍寺」の低圧電気設備特別点検（京都支部）

近年、フランスのノートルダム寺院や首里城などの世界的重要文化財が、相次いで火災焼失するという重大事故が発生しました。いずれも原因の特定は出来ていないものの漏電など低圧電気系統からの失火の可能性も指摘されています。

以上を踏まえ当協会では「電気使用月間」及び「CSR 活動」の一環として世界遺産ある天龍寺様の低圧電気設備特別点検を10月9日に実施しました。

境内には特に海外の参拝者が多く見受けられました。特別点検には主任技術者 中野はじめ支部会員 5 名で研修場及び水回りがある厨房等の分電盤 2 か所の検査を実施しました。停電の許可を確認してから、各分岐回路の絶縁抵抗測定及び端子増し締め等を行いました。その後の結果報告を行い、特別点検を完了しました。



参加者



低圧絶縁抵抗測定

「社会貢献活動（献血）」滋賀支部 今村 和彦

私、令和6年3月26日に、献血100回を達成しました。
その後も献血活動を継続し、令和8年1月3日に、献血112回になりました。

私は健康で自由に動けますが、病気やケガで病院に入院されている小さな子供さんをはじめ、老若男女問わず病院やケガで苦しんでおられる人がおられます。

そのことを想像すると、自分だけがお正月気分で喜んでいる場合じゃないと思い、娘の夫と一緒に今年（令和8年）1月3日に献血をしました。

私は、病気やケガで困っている人を助けたい。

健康になって、病院を退院し、自由に動き回っていただきたいと思っています。

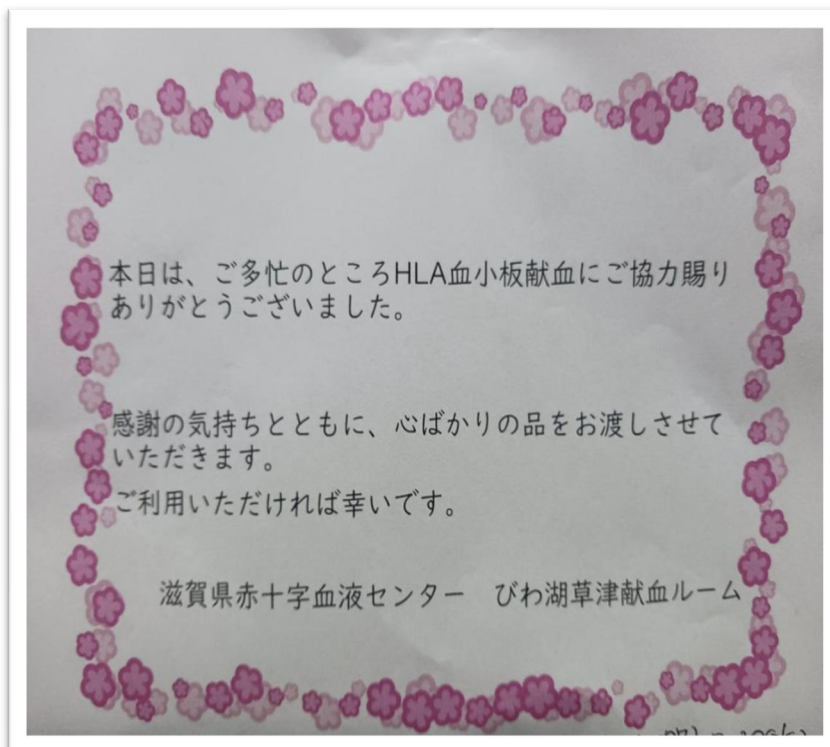
100回目を達成してからは、自分の都合で記録を目標にするのではなく、困っている人からの要請を優先に献血活動に取り組むようになりました。

献血は一定の期間を空けなければ、次の献血ができません。

私の血小板を必要とされている人から要請があれば、他の予定をキャンセルして、献血に行きます。

なにごとにも困っている人を最優先し、世界中のみんなが健康で平和であって欲しいと願っています。

【 感謝状 （令和7年7月30日 HLA血小板献血要請） 】
【献血記録】



母校へ寄付（滋賀支部）

母校へ寄付をしました！

滋賀支部では現在、八幡工業高校出身者が12名となり日々、管理業務に励んでいます。

また定期的に同窓会を実施し日常の管理業務についての体験を語り合っています。

そのような中、今年度は滋賀支部が創立60周年を迎えるにあたり母校へ何か貢献できることはないか、またこのようにして関西電気管理技術者協会滋賀支部において管理業務に携わることができたのは八幡工業高校が出発点ではないかと考え寄付が良いのではないかと結論にいたりしました。

寄付金額は少額ではありますが在校生のために使っていただきますようお願いしました。

これを機会に今後も継続して何かの形で母校への貢献を実施していきたいと考えています。



同窓会担当の板橋先生と
幹事の猪田隆司



同窓会担当の板橋先生と
幹事の猪田隆司
世話人の山上輝夫

卒業期	会員番号	氏名
3期	2523	玉川 繁
7期	2183	中村 甚一
8期	2553	山本 久一
8期	2650	藤野 弘
13期	1965	猪田 隆司
15期	3101	沖 博司
18期	3013	中江 広幸
19期	2684	西山 利信
20期	2192	山上 輝夫
23期	3030	大堀 正彦
28期	3076	藤澤 浩一
47期	3057	村田 竜治

電気使用安全月間での活動

電気使用安全月間での活動

『クリップモーター作り』で地域との交流活動（大阪北支部）

茨木フェスティバルの活動内容

7月26日（土）茨木フェスティバルで大阪府電気工事工業組合と（一社）関西電気管理技術者協会と共催でキッズ電気工事店を開店しました。

電気工事店では、3歳から低学年を対象として、「クリップモーター製作」を当支部スタッフと親御様と一緒に100台以上のキットを組立しました。組立後は、復習用キットを全員にお土産として渡しました。受講した子供は夏休みのいい思い出となったと思います。

その後、26日、27日に茨木フェスティバル会場で、うちわ、ウェットティッシュ配りを実施しました。

7月27日（日）午後5時～6時前後の茨木フェスティバルの会場



電気使用無料相談会・電気使用安全キャンペーン

(大阪南支部)

<大阪南支部 CSR活動報告>

令和7年8月4日(月)
(金)

令和7年8月5日(火)

令和7年8月22日

堺地区 堺市役所
屋商店街

東大阪地区 瓢箪山駅

浪速地区 中加賀

羽曳野地区 LIC はびきの

岸和田地区 南海岸和田駅前他

8月の電気使用安全月間に「電気使用安全相談会・電気使用安全キャンペーン」を関西電力、大阪府電気工事工業組合等と合同で 電気使用無料相談、電気の安全な使い方等のキャンペーンを実施しました。猛暑の中ではありましたが多くの方にキャンペーンの趣旨をお伝えし、啓発物品をお渡ししました。

8月22日 浪速地区(中加賀屋商店街)



8月5日 東大阪地区(近鉄瓢箪山駅)

8月4日 堺地区(堺市役所)



8月5日 羽曳野地区(LIC はびきの)

8月5日 岸和田地区(南海岸和駅他)



「電気使用安全月間活動、電気の無料相談会」の実施 (神戸支部)

神戸支部では、「電気使用安全月間活動」恒例の「電気の無料相談会」を7月19日(土)神戸市垂水区のマルアイジェームス山店1階エントランスをお借りして実施しました。当日は支部広報委員を中心に事務局を含め6名で実施しました。感震ブレーカー及び自動火災報知機(煙感知器)の説明や、電気の安全を促す無料グッズと「電気安全パンフレット」を配布しました。

その他、電気の疑問全般に対する質疑応答頂きました。

無料相談会を実施し、地域社会へ貢献できたことを嬉しく思いました。

グッズの配布



スタッフ



「電気使用安全月間活動、電気の無料相談会の実施」

(京都支部)

京都支部では8月4日、京都市役所前の「ゼスト御池地下街」で一般の方々を対象に「電気使用安全強化活動」電気災害防止キャンペーン・電気使用安全技術無料相談会を繰り広げました。

当日は広報委員と技術委員を中心に7名で実施致しました。通りがかりの方々にうちわ及びウェットティッシュとパンフレットを配布して呼びかけを行いました。



スタッフ



無料相談



「電気使用安全月間活動、電気の無料相談会の実施」

(滋賀支部)

「電気使用安全月間実施に伴う、高島市地域内広報活動・無料相談所開設」の実施



令和7年8月5日(火)滋賀支部湖西地区は、滋賀県電気工事工業組合高島支部等と合同で、電気使用安全月間活動として、キャラバン隊編成広報PR活動、電気安全無料相談所開設など、電気の使用安全のPR活動を実施しました。地域の電気事業者関係者が集まることで効果向上に努めています。今年は、高島市役所の駐車場で出陣式、集合写真を撮影し、キャラバン隊を編成し市内を巡回。一方は市役所の外部通路で電気無料相談所を開設しました。さらに、有志者による電気安全講習会を行い、自らの安全作業にも注視しています。



協賛団体

- ・高島市長、政策部危機管理局、消防本部
- ・関西電力送配電(株)滋賀本部
- ・関西電気保安協会滋賀支店大津営業所
- ・関西電気管理技術者協会滋賀支部
- ・滋賀電気安全サービス



電気使用安全月間活動

(和歌山支部)

- 電気使用安全月間活動

電気使用安全月間活動として8月5日(火)10:00~12:00に和歌山県電気工事工業組合殿、関西電力送配電(株)殿、関西電気保安協会殿の面々と共に約25名にて和歌山駅前において、団扇、ウエットティッシュ等を配布し、電気安全のPR活動を行いました。

PR活動



活動風景



活動風景

電気使用安全月間活動

(奈良支部)

C S R活動に関する支部及び専門委員会の取組

(奈良支部)

C S R支部・委員会取組表題
電気安全月間活動

取組紹介内容

本年も、支部事務所がある田原本駅周辺で実施しました。駅を利用される方々や、商店街の皆様には団扇や除菌シートを配布し、電気安全を安全に使用して戴くためのアピール活動をさせていただきました。33℃の猛暑の中、通行される方へのうちわとウェットティッシュの評判は良く、あっという間になくなりました。また、トンゴとゴミ袋を両手に駅周辺及び周辺住宅街の清掃活動も同時に実施させていただきました。水分補給をしながら無事に終わられてよかったです。

日時 令和7年8月4日 9:30～11:00
参加者 奈良支部役職者一同
場所 近鉄田原本駅周辺

写真・図添付



研修・訓練

「コンプライアンス研修会」(姫路支部)

実施日 ; 令和7年10月16日(木)

場所 ; イーグレ姫路 3F あいめっせホール

講師 ; 川西 副支部長(姫路支部)

受講者 ; 121名



研修内容

毎年10月は「コンプライアンス月間」と定め研修活動を実施しています。仕事を遂行する上で「法令遵守」「社会常識」は重要なことであり繰り返し実施していくことが重要です。

- 電気事業法に定められている私たちの仕事
- やるべきこと、やってはいけないこと
- 電気管理技術者のあるべき姿等について、研修会を行ないました。

「交通安全講話」(姫路支部)

交通安全講話 (年末年始の交通事故防止)

令和 7年 12月 19日

イーグレ姫路あいめっせホール

令和 7年 12月 19日に兵庫県姫路警察署(交通第一課交通総務係)の中谷巡査部長より、年末年始の交通事故防止として交通安全について講話をしていただきました。

(受講者 136名)



今日のお話しは……

① 交通事故発生状況

- ・姫路では交通事故が一日に44件、30分に1件くらいの頻度で発生
- ・前方不注視、止まれを止まらなかったために追突、出会頭の事故になっている。

② 安全運転のコツ 危険予測と事故回避

- ・大丈夫だろうではなく、危ないかも知れないという危険予測を！

③ 交通ルールの再確認など

- ・(横断歩行者保護) 横断歩道を見たら減速する。歩行者があれば止まる。
- ・(あおり運転) 相手をイラつかせるからあおられる。
自分の車種、運転技能が上という意識があるからあおる。イライラさせない運転を！
- ・(薄暮時等のライト点灯) ハイビームでの走行が基本。ハイビームでは前方100m、ロービームでは前方40mの確認となる。

④ 飲酒運転の根絶

二日酔いでの運転で翌朝に検挙されることがある。アルコールが体内から抜けるのに1単位の飲酒で4時間かかる。

⑤ 自転車ヘルメット 着用が努力義務化された。

一人一人が交通ルールを守ることは勿論、大丈夫だろうではなく、危ないかも知れないという危険を予測した運転をすること、時間に余裕をもって行動をすることなど、当たり前のことを当たり前にするすることで事故を未然に防ぐ行動をしましょう。 以上